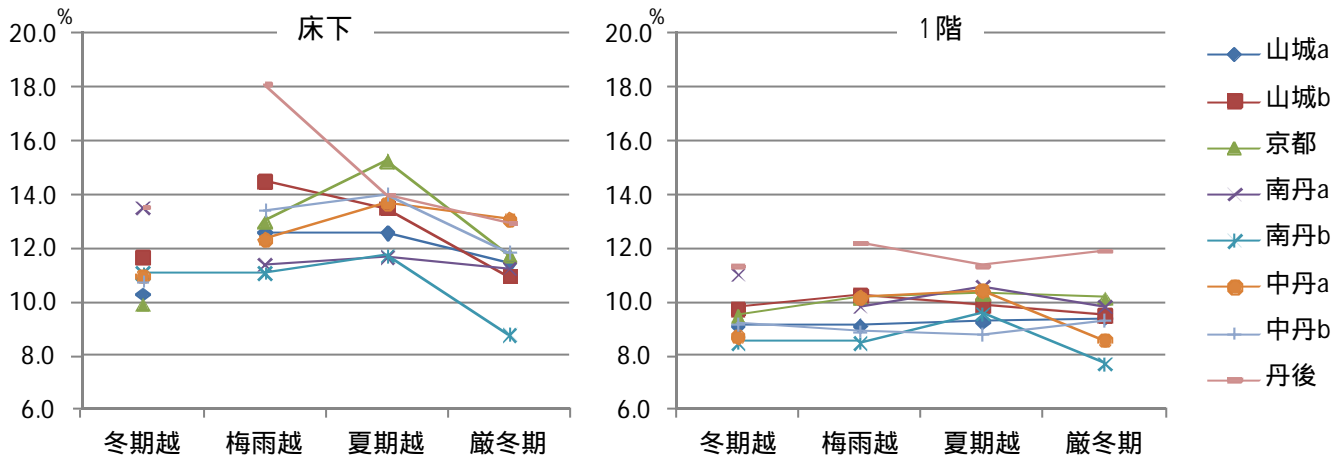


# 木材の乾燥ひずみが 構造物に与える影響評価

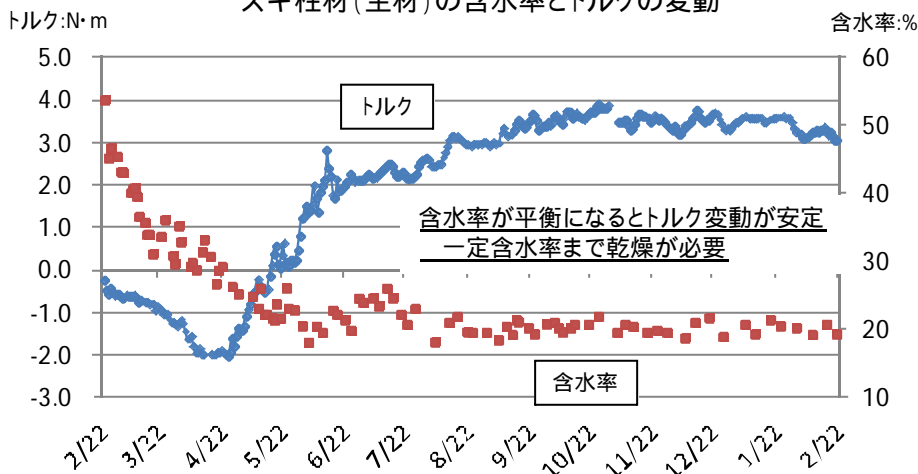
(農林センター 森林技術センター)

府内木造住宅の部材含水率を調査したところ、南部・北部間で有意差は認められなかったため、製材品の含水率区分に、使用地域による差を設けることはできないことが判りました。

住宅の平衡含水率



スギ柱材(生材)の含水率とトルクの変動



実大試験の様子

- ・木材乾燥エネルギー低減のため、地域的な含水率基準の緩和を検討しましたが、住宅部材の含水率に地域間の差は認められず、その値も一般的なものであったので、緩和基準設定には至りませんでした。
- ・住宅部材のひずみ低減に木材乾燥は有効ですが、乾燥エネルギー低減のためには、天然乾燥と人工乾燥を組合せる等の対応が必要であることを確認しました。

品質保証された府内産木材製品を求める建築設計側のニーズに応えるため、今回の結果を加味した府独自の製材品品質管理規格について、現在、製材業者を中心に作成が検討されています。